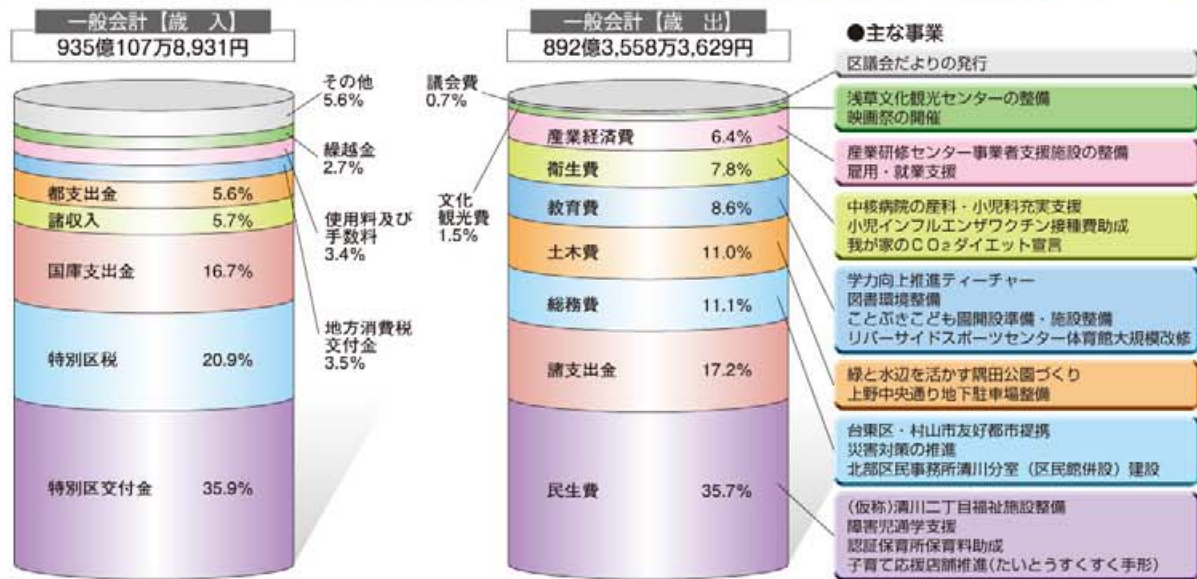


20年度各会計決算を認定 決算特別委員会



会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業会計	227億5,006万7,798円	217億2,664万8,536円
後期高齢者医療会計	32億1,831万3,920円	30億7,454万4,600円
老人保健医療会計	19億1,712万4,552円	15億4,892万5,579円
介護保険会計	108億9,799万7,612円	103億3,255万3,024円
老人保健施設会計	25億3,863万5,987円	24億1,336万7,407円
病院施設会計	38億8,996万2,372円	38億8,996万2,372円
用地会計	0円	0円

決算特別委員会での主な質疑

決算全般

- 問** 緊急の課題が山積しており、多くの財政負担が予想される。限られた財源で、真に行政が行うべき仕事や必要な事業を判断することが重要ではないか。
- 答** 少子高齢化への対応など取り組むべき課題は多岐に渡っている。来年度策定する新たな行政経営推進プランの中で区政運営の手法について検討していく。

歳入

- 問** たばこ税についての理解を深めてもらうため、貴重な自主財源として区政に活用されていることを広く区民にPRすることが必要と考えるが、どうか。
- 答** たばこ税の重要性については、広報「たいとう」をはじめ、マナー啓発用の携帯灰皿等でPRしている。引き続き、わかりやすいPRに努めていく。
- 問** 国や東京都の枠組みが変わる中で様々な制度変更が予想される。補助金や特別区交付金などの歳入の確保に向けて、区長の考えはどうか。
- 答** 制度改正などに的確に対応するため、国や東京都の動向を十分に注視し、様々な歳入の確保に努めていく。

歳出

- 問** 平成12年の財政健全推進計画のように、数値目標を立てるなど無駄を省くという内容で、区独自の抜本的な財政刷新対策を行ってはどうか。
- 答** 限られた資源を有効活用し、財政健全推進計画等に基づき事務事業の見直しを進めてきた。財政刷新対策については、新たな行政経営推進プランの中で検討していく。
- 問** 災害の発生による緊急時等に迅速な救命措置を取れるよう、「救急医療情報キット」(医療情報を保管する容器)を高齢者等に配布してはどうか。
- 答** 医療情報等を記載する、(仮称)防災安心カードの作成を検討している。情報キットについては、災害時要援護者名簿の活用等とあわせて研究していく。
- 問** 北部地域簡易宿所転換助成事業を効率的に推進していくためには、東京都に助成金を求めることも必要と考えるが、どうか。
- 答** 21年度から東京都の財政支援を得て実施することになり、現在、13施設から相談を受けている。今後も東京都等と連携を図り、積極的に推進していく。
- 問** 環境ふれあい館がある蔵前地区周辺と、北部地区の1か所を環境モデル地区に指定し、エコゾーン構想を研究していくべきと考えるが、どうか。
- 答** 地域単位で環境保全に取り組む仕組みづくりにつ

いては、環境モデル地区の指定を含め、検討していく。

- 問** がん検診、健康診査で、精密検査の対象となった受診者に対するフォロー体制の確立が必要であるが、どのように対応していくのか。
- 答** 精密検査対象者のフォローアップ体制については、検診機関によって対応に違いが生じないように指導していく。
- 問** 東京スカイツリーの完成を見据え、さらなる誘客に向けた取り組みが不可欠な中、観光地域プロデューサーをどのように活かしていくのか。
- 答** 観光客のニーズをとらえた情報発信や地域の魅力づくりなどに、観光地域プロデューサーのノウハウを活用し、さらなる誘客に積極的に取り組んでいく。
- 問** 深刻な現状の皮革履物産業については、ものづくり工房にとどまらず、旧東京北部小包集中局跡地や都立靴学校などを活用した産業復興の拠点を作ってはどうか。
- 答** 産業研修センターを中心に、企業の技術力向上等に取り組んでいる。地場産業の育成、創業支援などの拡充とともに、東京都との連携にも努める。
- 問** 今後の浅草北部地域の環境整備とまちづくりは、地域の視点に立って進めることが重要ではないか。
- 答** まちづくり協議会をはじめ、地域の方々を連携しながら、北部地域の総合的かつ魅力あるまちづくりを進めていく。
- 問** 幼稚園に加え、21年度からは保育園も教育委員会の所管になったが、就学前児童に対する施策の現状と教育長の感想はどうか。
- 答** 幼稚園、保育園それぞれの課題について理解を深め、取り組みについては相乗効果を図る必要がある。また、就学前の子どもたちを一体的にとらえ、連携を図りながら幼児教育を改善、充実していくことも必要である。
- 問** 幼児教育の「ランドデザイン」について、幼児教育に対する中長期的なビジョンの策定が必要ではないか。
- 答** 幼稚園、保育園等を加えた協議会やプロジェクトチームでの検討結果、幼児教育検討会の提言を踏まえ、全体像についての考え方をまとめていく。
- 問** 幼保一体化や就学前教育の推進などを行っているが、今後の認可保育所と認定こども園のあり方をどのように考えているのか。
- 答** 2つの認定こども園の成果や課題を十分に検証し、認定こども園・保育園・幼稚園などの幼児教育の今後のあり方について、総合的に検討していく。
- 問** 介護保険制度は見直しのたびに低所得者への影響が深刻になっている。所得により差別されない区民福祉を目指すべきではないか。
- 答** 福祉施策の実施にあたり、すべての区民が適正な負担でサービスを受けられるよう配慮している。今後も、さらなる区民福祉の向上を目指していく。

9月10日開会の本会議で、一般会計や特別会計の決算報告が区長から提出されました。これを受けて、議会はただちに15名で構成する決算特別委員会を設置し、延べ8日間にわたり審議しました。

10月19日には総括質問を行い、採決の結果、いずれの会計も認定すべきものと決定しました。

10月23日開会の本会議では、決算特別委員会委員長から委員会での審議経過や結果報告があり、さらに反対者からの少数意見報告がありました。

採決の結果、委員会の決定どおり認定されました。

決算特別委員会委員

- ◎和泉 浩司 ○木下 悦希 高森喜美子
- 石塚 猛 小坂 義久 東 久仁子
- 秋間 洋 太田 雅久 田中 伸宏
- 青柳 雅之 清水恒一郎 杉山 光男
- 田口 治喜 伊藤萬太郎 藤平 一雄

(◎は委員長、○は副委員長、委員は議席順)

区議会からのお知らせ

区議会インターネット録画中継について

台東区議会では、議会活動を広く区民の皆さんにお知らせするため、平成21年第2回定例会より、区議会における一般質問等のインターネット録画中継を開始いたしました。

アドレスは次のとおりです。ぜひご覧ください。
<http://www.gikaitv.net/dvl-taito/index.html>

CATV議会放送について

第4回定例会(11月25日~12月17日開会予定)における区長所信表明・各会派の一般質問をJ:COM台東【701ch(デジタル)/5ch(アナログ)]で録画放送いたします。

放送予定は次のとおりです。ぜひご覧ください。
○区長所信表明・一般質問
12月12日(土)午後1時~5時
【再放送は12月13日(日)の同時時間】

新聞を購読していない方で区議会だより元旦号及び168号を希望する場合は郵送します。

台東区議会だよりは、町会を通じて各家庭にお届けしていますが、元旦号・168号は、それぞれ1月1日・20日発行の新聞(朝日・読売・毎日・産経・東京・日本経済)に折り込んでお届けします。

区内にお住まいの上記の新聞を購読していない方で、郵送を希望される場合は、次の要領でお申し込みください。

元旦号は、広報「たいとう」(区報)と一緒に郵送します。

申し込み方法
はがき・電話・FAXのいずれかで、①「元旦号・168号郵送希望」②住所③氏名④電話番号を、12月11日(金)(必着)までに、下記へご連絡ください。

〒110-8615 台東区東上野4-5-6
台東区役所区長・広報室
TEL (5246) 1021/FAX (5246) 1029

元旦号・168号の1面の写真を募集しています

内 容: 元旦号…お正月や新年の風景・イメージのもの
168号…台東区内の新春の風景(台東区の行事、お祭り、季節の花など)

応募資格: 区内在住、在勤、在学にかかわらず、どなたでも応募できます。

写 真: 現像した写真(2L判)。明らかに人物を特定できる場合は本人の了承を得てください。

応募方法: 住所、氏名、連絡先、撮影場所を明記したメモなどを同封し、議会事務局宛に郵送または持参してください。

掲載事項: 撮影者の氏名
締 切: 元旦号…12月4日(金)必着
168号…12月16日(水)必着

*なお、応募いただいた写真は、返却いたしませんので、ご了承ください。